市内就学前教育保育の63施設に

NPO草津市内業者会 絵本を寄贈

絵本贈呈式に出席した(後列左から)守野副理事長、綾城副理事長、辻副理事長、森川理事長、橋川市長ほか、前方は草津市立中央幼稚園の園児ら

草津市を拠点とする建設関連事業者でつくる特定非営利活動法人「草津の安全・福祉・災害救援活動を推進する市内業者会」(略称=NPO法人草津市内業者会・理事長=森川守㈱千商代表取締役)は先月29日、拠点とする草津市の教育事業への支援として、市内の公立保育所・幼稚園・こども園、認可保育所・こども園、家庭的保育施設、小規模保育施設、認可外保育施設、私立幼稚園—の就学前教育保育施設全63施設を対象に、計257冊、30万円相当の絵本を寄贈した。

同法人は平成20年の設立以来、社会貢献活動の一環として災害時の緊急出動、清掃や不法投棄撲滅活動、宿場まつりへの協賛参画、教育事業への寄付など幅広く草津市への支援活動を行っている。教育事業へは要望を聞いて必要とされる教材などを毎年寄贈、これまでに幼稚園・保育所へ絵本、小中学校へボールや地図、かまどベンチの設置、空気清浄機などを贈ってきた。今回は4度目の低年齢児施設への寄贈で、施設の規模や必要な絵本の種類に応じて最適な冊数・中身の寄贈本を準備した。

寄贈を受ける施設を代表し、市立草津中央幼稚園(草津3丁目13—10)で行われた贈呈式には、草津市より橋川渉市長、望月英司子ども家庭部長ら職員、NPO草津からは森川理事長をはじめ辻由夫副理事長、綾城正壽副理事長、守野洋史副理事長らが出席。また園児代表として4歳児・5歳児クラスから計56名の子ども達が出迎えた。

森川理事長が「教育環境の充実のため使って頂ければ幸いです。防災・安全・福祉・教育など多方面での支援活動を今後も継続して参ります」と述べ、橋川市長に贈呈目録を、園児代表に絵本の入った包みを贈った。

橋川市長からは「本市の保育環境の向上に寄与頂く毎年のご寄贈に感謝したい。今後も温かく子供たちの成長を見守り、ご支援頂きますよう」との言葉とともに、森川理事長に感謝状が贈られた。

続いて園児らが「絵本ありがとうございました。大切に読みます」と大きな声でお礼の言葉を述べ、感謝のしるしの歌を元気一杯に歌った。可愛いお礼にNPO草津の役員らは目を細め歌に聴き入った。

労働力調査(基本集計)結果を公表

建設業就業者数 前年比で0.6%増

総務省

総務省はこのほど、労働力調査(基本集計)結果を公表した。それによると、建設業就業者数は昨年(1～12月)時点の平均で498万人に上り、前年時点の平均より3万人増(増減率0・6%増)となった。今後の人口減少で産業間の人材獲得競争が厳しさを増す中、国土交通省や建設関係企業・団体が最優先に取り組んでいる担い手確保策が一定の成果を示したものとなった。

労働力調査の結果によると、昨年平均で全体の労働力人口は47万人増(0・7